

<当社携帯電話端末におけるバリューチェーン全体像とポイント>

	当社におけるCE観点での競争優位を促進する主な要素	確保・強化	主な対応	リスク・機会		アウトプット	アウトカム
財務資本	・使用済み資源有効活用による収益化 ・廃棄コスト回避	①リサイクルの対応最大化 ②リユースの対応最大化	①回収した携帯電話端末の再販売による収益化／撤去基地局通信設備や使用済み携帯電話端末の資源再利用による収益化 ②国内外でのリユース製品の販売による収益化	リスク	・新規携帯電話端末市場の縮小 ・リユース市場拡大による携帯電話端末の他社への流出		自然資本や資源の持続可能を確保し、社会や産業・経済の発展へ貢献 SDGs12「つくる責任 つかう責任」
				機会	・リユース携帯電話端末市場拡大による回収増／収益増 ・稀少鉱物等資源の価格高騰による収益増		
製造資本	・データセンター、ネットワークセンター、基地局等設備の最適化による資源効率向上 ・競合他社との基地局共用化 ・携帯電話のレンタル等による提供 ・提供する通信サービスの多様化	①設備の効率的な資源活用の徹底／省資源の強化 ②レンタルサービスの推進 ③省資源技術サービスやSIM単体の販売等推進	①データセンターによるEMS導入およびチラー稼働抑制による省エネ化 ②法人向け携帯電話端末のレンタルサービス展開 ③eSIMのサービス提供	リスク	・エネルギー確保の安定性低下およびエネルギー価格高騰によるコスト影響 ・多様な販売対応への遅れによる機会損失		
				機会	・効率的な資源活用によるコスト削減 ・レンタル市場拡大による収益増 ・インバウンド／アウトバンド市場拡大によるe-SIM／SIM単体販売の拡大		
知的資本	・持続可能な森林管理を認証する認証紙の利用 ・資源循環団体への加盟	①資源配慮表示の商品の活用推進 ②パートナーシップの強化	①社内利用紙：PEFC、FSC認証紙の利用率（約80%） ②サーキュラーパートナーズ加盟	リスク	・非資源配慮素材の利用によるレピュテーション ・閉鎖的な自社ノウハウでの活動による生産性低下	・GSMA目標 - 新規携帯電話端末の販売台数に対する回収台数20%以上：20%以上達成 - 回収した携帯電話端末の適切処理(非埋立率)100%：100%達成	SDGs13 「気候変動に具体的な対策を」
				機会	・外部ネットワークによる知見の獲得 ・循環型ビジネス知識の蓄積と競争優位構築 ・認証素材利用によるブランドイメージ向上		
人的資本	・社員のノウハウ知識強化 ・部門や社員の適切な廃棄や回収・再利用促進	①サステナビリティ教育の機会提供 ②適切な回収・再利用を促す啓発機会の提供	①eラーニング実施（FY24受講率：約92%） ②社員向け有価物処理窓口開設、業務マニュアル提供	リスク	・教育の浸透不足による資源の回収停滞／廃棄増	・リユース、リサイクル合計台数（2020～24年度）：1,250万台	SDGs15 「陸の豊かさを守ろう」
				機会	・資源回収の促進と有価物の売却利益確保 ・社員意識向上による新規事業やイノベーション拡大		
社会/ 関係資本	・リユース、リサイクル事業における協業パートナー ・お客さまへの提供物における非プラスチック由来製品、未利用資源や廃材利用製品の提供 ・社会やお客さまの環境／資源有効利用意識の向上	①優良廃棄業者の見極め、リレーション強化 ②ショップでの携帯電話端末回収 ③お客さまへの啓発機会提供	①業者監査実施、優良業者選定 ②ショップでの受付／新トクするプラン提供による安定的回収 ③お客さま向け環境教育「りさ育る」実施	リスク	・顧客／社会の受容停滞時のリユース／リサイクル事業の提供の資本コスト増		
				機会	・リユース／リサイクル領域における事業機会拡大 ・非プラ製品／廃材利用品／教育機会の提供により企業イメージ向上		
自然資本	・稀少鉱物等の再利用による資源の有効活用 ・データセンターの先進技術による水利用抑制 ・プラスチック由来製品の使用抑制／未利用資源や廃材利用製品の活用	①リユース、リサイクルによる稀少鉱物など資源の再利用促進 ②水等自然資本の省利用推進 ③低環境負荷素材の利用促進	①マテリアリティKPI設定し、全社活動として推進 ②データセンターの先進技術による水利用抑制 ③認証取得したショッピングバックの利用／葛を素材とした名刺製作および社内利用	リスク	・資源対応の活動停滞による稀少鉱物など資源の枯渇およびレピュテーション ・規制による水等資源の利用制約／事業制限		
				機会	・希少金属等の安定的な再資源提供による携帯電話端末の調達安定化 ・廃材や未利用資源の市場拡大／新たな事業創造		

